



恵まれた自然環境の中で生きがいと潤いのある生活を！

## 施設長挨拶



早くも5ヶ月が経ちます。

私は、平成29年7月16日に、施設長を拝命いたしました。

これまで、広島市西区長、安佐動物公園長、広島観光コンベンションビューロー専務理事を歴任後、4月から3ヶ月半自由人として過ごしてきました。

これまで高齢者福祉に携わることのなかった私としては、この3ヶ月がとても有意義な時間となりました。

社会福祉、介護等に関する書物を読み勉強する時間があつたことです。

この経験から、最近ではローギアからセカンドギアにて運行できるところまで来たように思っています。

当特別養護老人ホーム和楽荘は、昭和55年創業後、平成28年12月に5階建ての新しい施設に生まれ変わりました。

2階には、素晴らしい地域交流室も設置されています。

特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業部、通所介護事業部、訪問介護事業部、居宅介護センター、広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センターと様々な事業に取り組んでいます。

8年後の2025年には、団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となり、日本は5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入することが見込まれています。

要介護者も大幅に増えると予想され、大量介護への対応が必要な「2025年問題」が迫っています。

現在では、介護人材不足が喫緊の課題となっています。

介護人材を確保するため労働条件の改善や働き甲斐を得られやすい職場づくりなどに取り組んでまいりたいと思っています。

さらに、国においては、平成30年度の介護報酬改定が議論されており、かなり方向性が見えつつあります。

事業者の持続可能性を考えた報酬設計とし、サービスの質の向上、従事者の処遇改善も継続できることを切に願うものです。

また、仕事の進め方において重要な要素として「PDCA」があげられます。

介護現場では、まさに「PDCA」が実践されているものと思うとともに、ぜひともそうあるべきものと期待しています。

今後とも少子高齢化社会で求められている施設である事を肝に銘じて、入居者・利用者皆様の介護と生きがい支援、さらに地域に愛される施設をめざして職員一同尽力してまいります。



施設 外観



施設 玄関



社会福祉法人和楽会  
特別養護老人ホーム和楽荘  
施設長 増川 一幸